

## 日本代表決定！本市から4人が国際大会出場



### テコンドー 樋口・津田選手

中国洛陽で開催される第18回アジアテコンドー選手権大会に、樋口清輝選手（内牧2区、27歳）がフェザー級日本代表として出場します。樋口選手はシドニーオリンピック出場選手で、2年に一度41ヶ国が参加し行われるこのアジア大会にも2度出場し、2度とも銅メダルを獲得しています。3度目の挑戦に向け樋口選手は「今回から電子防具着用で正確に技を得点できるとあって意欲が増している。強豪国にも全力で挑みます」と語りました。

また、樋口選手の試合から10日後、津田ひかる選手（宮地出身・韓国留学中、16歳）も第7回世界ジュニアテコンドー選手権大会にバンダム級日本代表として出場します。津田選手の世界ジュニア出場は前回（ベトナム）に続き2度目で、188ヶ国もが参加する世界の大舞台で上位入賞を目指します。開催場所はトルコです。



本市から同時期に二人の日本代表が誕生したとして、4月19日、阿蘇いこいの村で激励会が催されました。津田選手の留学先韓国での校長、監督も訪れ、二人を応援しました。



写真左から緒方選手、山本選手

### 阿蘇高女子柔道部の山本・緒方選手

5月17日からリヨンで開催される2008年フランスジュニア国際柔道大会に、先の全国高校柔道選手権団体戦で日本一に輝き、最優秀選手賞を受賞した山本小百合さん（阿蘇高校3年）と、優秀賞を受賞した緒方亜香里さん（同）が出場します。今大会は20歳以下の大会で、二人は体重別一名の枠にそれぞれ選ばれました。初めて外国の選手と対戦しますが、二人は全日本柔道連盟のジュニア強化指定選手の指定を受け世界を視野に練習しており勝利が期待されます。

5月2日、全国高校柔道選手権団体戦優勝の祝賀会および二人の激励がサンクラウンホテルで行われ、全国トップ校となるまでの人一倍の努力、選手育成に会場から盛大な拍手が送られました。

## こいのぼりで地域おこし

波野の榎木野地区（森進一区长）に、昔から親しまれている乳の木（公孫樹・県指定樹木）周辺でこいのぼりが約30匹泳いでいます。今後も、県内外のたくさんの人に親んでもらえる場所になるようにと、区長を中心に集落の善意で集まったこいのぼりを立てたそうです。乳の木は、昔から地元の乳の出の悪い母親が参る場所でした。また、ASO田園空間博物館のサテライトにも登録しています。



榎木野地区のこいのぼり



仲町通りの飾りつけ作業の様子

阿蘇神社横の仲町商店街にも、仲町通り繁栄会と地域づくりグループみやびプラス1の皆さんが共同作業で、通りにこいのぼりや矢旗を飾り、5月ならではの雰囲気を出しています。ここは観光客が多く思わぬ風物詩にカメラを傾げる方もあります。

両方とも、5月いっぱい楽しめますので、子どもさんたちに、ぜひ、たくさんのおいのぼりを見せてあげてください。